

授業科目	国際看護学					実務家教員担当科目	<input checked="" type="radio"/>
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	溝部 昌子						
授業概要	<p>人々の健康状態や健康を守る行動を形成している文化的背景について理解し、異なる文化背景を持つ人々を看護の対象とするときに必要な知識、理論、課題への取り組み方法について学ぶ。日本国内、海外を問わず、多文化社会において普遍的に求められる看護師のカルチャラル・コンピテンスを醸成する。</p> <p>実務家教員として、外国人患者の看護、米国看護師資格取得経験のある教員が担当し、文化背景の異なる対象のアセスメントや看護理論、実践方法について教授する。</p>						
授業形態	対面授業（一部オンデマンド）			授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーション、オンライン授業		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	
	文化背景の異なる人々を看護の対象としたとき、健康に影響を与えていたる生物学的要因、生活習慣、宗教的意義、気候風土、価値観、民間療法などに気付くことができる 1. 国際看護の対象を説明できる 2. 世界の健康課題について列挙できる 3. 国際保健医療協力活動を例示できる 4. 健康に影響を与える文化、気候、文化、食事を例示できる 5. レイニングガーネ看護論サンライズモデルに含まれる要素について説明できる 6. 患者の文化的安全を守る患者サービスを例示できる 7. 言語的障壁が医療や健康に与える影響を説明できる 8. 渡航医学に関する疾病・予防・看護師の役割を理解できる
理想的レベル	
	多様な文化的背景を持つ人々を看護の対象としたとき、健康を守ることに関連した対象の文化的背景についてアセスメントし、文化の違いを強みにした看護方法を検討し、様々な資源を利用した看護に貢献できる

評価方法・評価割合

評価方法 / 評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	30%	① 医療における差別、② 海外旅行・生活の準備
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物	60%	事例についてグラフィックレコーディング制作
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

第1回	<p>1. 看護における国際化、世界の健康課題 1章、2章 国際看護の対象、文化看護、レイニンガーのサンライズモデル、パネルの文化能力モデル、健康格差、世界の保健医療システム 担当：溝部昌子</p>
第2回	<p>2. 日本の医療におけるグローバル化 4章、5章 言語・文化の障壁と CLAS、JMIP、医療通訳、やさしい日本語 担当：溝部昌子</p>
第3回	<p>3. 文化看護 5章、6章、8章 外国人患者に対する看護ケア、地域における外国人への支援 担当：溝部昌子</p>
第4回	<p>4. 国際保健医療活動 第3章 国際機関、国際協力の実際 担当：外部講師</p>
第5回	<p>5. 国際看護のスキルとリソース 事例課題の発表 担当：溝部昌子</p>
第6回	<p>6. 医療における差別 医療較差、健康格差、様々な差別 担当：溝部昌子</p>
第7回	<p>7. 海外での看護、英国の場合【オンデマンド】 5章 看護師の資格制度 担当：外部講師</p>
第8回	<p>8. 渡航医学と看護 8章 感染症、深部静脈血栓症 検疫所、トラベルクリニック 担当：溝部昌子</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践④国際化と看護. MC メディカ出版（電子書籍）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> 経済産業省：アウトバウンドに関する取組 医療国際展開カントリーレポート マデリン・M・レイニンガー原著：レイニンガー看護論、医学書院、1995 経済産業省：病院のための外国人患者受け入れ参考書 2014 厚生労働省：外国人患者の受け入れのための医療機関向けマニュアル（第4.0版） 2019 CLAS Standards Office of Minority Health U.S. Department of Health and Human Services: TEACHING CULTURAL COMPETENCE IN HEALTH CARE. A REVIEW OF CURRENT CONCEPTS, POLICIES AND PRACTICES, 2002

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Office of Minority Health U.S. Department of Health and Human Services: Culturally Competent Nursing Care: A Cornerstone of Care 2016 ・ 医療×「やさしい日本語」研究会
課題に対するフィードバックの方法	<p>それぞれ A-B-C3 段階評価を付し返却します (A : 情報検索、複数の立場や観点から、自身の意見を論述している B:情報検索あるいは意見の論述に不足がある C:不足が多い)</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>基礎看護学、看護理論など、看護の対象を理解するための方法、理論を基盤とし、人々の健康に影響を与えている生物医学的背景、地理気候、法律や制度、経済、政治、文化などの様々な要因に関心、興味、視野をもち吸収し、看護に関連づけてしなやかに思考する開放性が求められます 日本国内にも外国につながりのある人々が暮らしています。看護の対象として接する際に必要な知識・取り組み方を学びます。海外に興味がある方にもそうでない方にも、未来を生きる大学生が履修すべき科目の一つとして勧めます。</p>

